

平成
23年度

伊予市社会福祉協議会の

おもな取り組み

伊予市社会福祉協議会は『全社協、福祉ビジョン2011』とともに生きる豊かな社会福祉をめざして、あるように貧困、虐待、孤立などをはじめとする解決になかなか至らない深刻な福祉課題や生活課題、また、制度で対応できない問題に取り組み、その解決の仕組みを創っていくよう努力してまいります。皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。なお、今年度就任した事務局長をご紹介します。



西村道子事務局長

このたび事務局長に就任いたしました。伊予市の地域福祉の更なる発展のために精一杯努めさせていただきます。「一人ひとりの住民が、その人らしく、安心していきいきと暮らせるしあわせのまちづくり」を基本理念とした行動計画を基に、様々な事業を職員全員で力を合わせて取り組んで参りたいと考えておりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●法人運営事業

○理事会・評議員会

理事会・評議員会を年間4〜5回開催し、適正な法人の運営をすすめます。

○広報活動

年6回発行している「社協だより」により多くの住民の皆さんを掲載し、より親しみやすい編集に努めます。

○会費制度の充実

目標額：6,340,000円

○伊予市社会福祉大会の開催

●社協運営事業

○福祉活動専門員

社会福祉活動の中心となる職員として、その資質向上に努めます。

●共同募金運動等の推進

○共同募金運動

目標額：7,300,000円
固定配分と公募による「ささえあい活動支援」の効果的活用を促進を図ります。

○歳末たすけあい運動

目標額：3,600,000円
歳末ふれあいの集い、高齢者友愛訪問、障がい者とボランティアの交流会の開催を推進します。

○まごころ銀行

目標額：2,200,000円
住民の皆さんから寄せられたご芳志が活きるよう、地域で求められている福祉事業に活用します。
地区社協への助成額
2,100,000円

●相談支援活動の推進

○生活福祉資金貸付事業

住民の皆さんの生活の安定・向上を目的に、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金貸付のための一連の業務を民生委員と連携し行います。

○福祉サービス利用援助事業・法人後見事業

市内6地区に支援員を配置し、福祉サービスを受けるための手続きや、判断が困難な障がい者・認知症高齢者に対し、各種申請等の代行や金銭管理等の支援を行います。また、成年後見制度に基づき後見人等を受任し、被後見人等の支援を行います。

○在宅介護高齢者相談支援センター

担当職員の専任体制により要介護者の早期発見、地域ニーズの把握等に努め、各種介護予防対策の推進を図ります。

○一般高齢者介護予防教室の開催

転倒予防教室、認知症予防教室、男性の自立支援のための男性料理教室など多彩なプログラムを開催し、高齢者が孤立したり要介護状態になったりしないよう取り組みます。

○家族介護教室事業

在宅で要介護者の介護にあたる家族が、介護の技術や知識を習得する教

室を開催し、介護者の孤立・不安を予防・解消します。

○福祉出前講座

福祉事業に対する住民の理解と協力を図るため、住民の要望に応じて地域において福祉出前講座を開催します。

○要援護者家具転倒防止対策事業

建築士会などの協力により、要援護者宅の家具転倒防止のための用具類の取り付け普及を図り、一人住まいの高齢者等の安全確保に努めます。また、地域で活動するボランティアの育成をすすめます。

○高齢者家庭相談員設置事業

悪質な訪問販売による被害が後を絶たないことから、定例会開催時に最新情報を提供し、安否確認時にひとり暮らし高齢者へ情報提供を行い、被害の未然防止に努めます。また、ひとり暮らし高齢者が孤立しないよう、ご近所福祉の推進に取り組みます。

○ボランティア活動推進事業

○ふれあい・いきいきサロン事業

○心配ごと相談事業

○民生児童委員協議会運営事業

業



●在宅福祉サービス

《介護予防事業》

○高齢者自立支援デイサービス事業

介護認定を受けていない高齢者を対象に、介護予防を目的として行う市内唯一の通所事業を行います。

『ライサービスじゅらく』
・月々金曜日(10時～15時)
・老人福祉センター内

○特定高齢者通所型介護予防事業

じゅらくを利用し、包括支援センター等との連携により特定高齢者を対象に運動機能向上・口腔機能向上等のプログラムを実施。3か月後に評価を行うことにより介護予防を重点的にすすめます。

○居宅介護予防支援事業

介護保険の要支援者を対象に、伊予・双海の2事業所においてケアマネージャー5人が介護予防を重点にしたケアプランを作成します。

○介護予防施設送迎サービス

○福祉機器・福祉車両の貸出事業

《介護保険事業》

○居宅介護支援事業

要介護状態にある高齢者に対し、伊予・双海の2事業所においてケアマ

ネージャー5人がケアプランを作成します。

○訪問介護事業

訪問介護員が在宅の要援護者宅を訪問し、食事・入浴・排せつなどの身体介護や炊事・洗濯・掃除などの生活援助を行います。伊予・中山・双海の3事業所において常勤5名、非常勤31名体制でサービスを提供します。

○訪問入浴事業

《障がい者自立支援事業》

○居宅介護事業

身体・知的・精神障がい者が可能な限りその居宅において有する能力に応じた自立した生活を営むことができるよう、入浴・排せつ・食事の介護を始め、生活全般にわたる援助を行います。

○地域生活支援事業

障がい者が地域で安心して暮らせる社会を目指し、自立した日常生活を営むための移動支援等を行います。

●指定管理事業

○老人福祉センター

○唐川ふれあいプラザ

○上灘老人憩いの家

●調査・研究に関する事業

○社協発展強化計画の作成準備

自主財源の乏しい中、市民の皆さんや企業などからの貴重な会費や寄付金などの適正かつ効率的な活用を図り、事業効果を上げていくための準備に取り組みます。

○地域福祉活動計画の推進

●地区社協に関する事業

○大平・中村・郡中・上野各地区

従来からの「敬老の家」「子ども見守り隊」「在宅福祉ネットワーク」等に加え、地区社協が開催する各種研修事業や地域ニーズ把握のための懇談会開催に協力します。

○中山・双海各地区

従来の給食サービス、紙おむつ支給事業等を継続して行うとともに、新たな地域ニーズの吸い上げ等の活動に協力します。



平成23年度 伊予市社会福祉協議会一般会計予算

資金収支予算

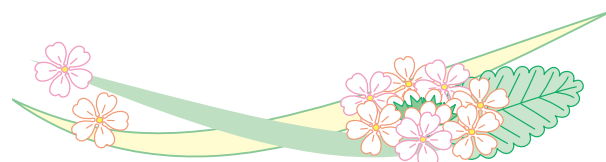
単位：千円

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
会費収入	6,340	人件費支出	151,570
寄付金収入	2,200	事務費支出	17,829
補助金収入	40,085	事業費支出	19,938
助成金収入	4,044	共同募金配分金事業費	7,318
受託金収入	36,365	助成金支出	5,507
事業収入	2,404	経理区分間繰入金支出	8,612
共同募金配分金収入	8,571	積立預金積立支出	1,620
介護保険収入	85,614	その他の支出	1,882
自立支援助入	6,709		
利用料収入	2,593		
受取利息配当金収入	160		
経理区分間繰入金収入	8,612		
積立預金取崩収入	1,565		
預け金返還金収入	8,010		
繰入金	1,004		
合計	214,276	合計	214,276

経理区分別内訳書

単位：千円

経理区分	収入	支出	差額
法人運営事業	47,094	47,094	0
ボランティア活動推進事業	1,869	1,869	0
共同募金配分金事業	8,571	8,571	0
まごころ銀行預託金	3,204	3,204	0
まごころ銀行預託金事業	2,100	2,100	0
地域福祉関連受託事業	9,050	9,050	0
介護関係受託事業	24,761	24,761	0
介護保険事業	102,682	102,682	0
障害者自立支援事業	7,679	7,679	0
地域介護福祉事業	18	18	0
指定管理事業	7,248	7,248	0
合計	214,276	214,276	0



市民の皆さまへお知らせ

伊予市社協 中山事務所が移転しました

中山地域事務所・自治支援センター建設に伴い、伊予市社会福祉協議会中山事務所が移転しました。

ご不便・ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

■移転先 中山地域事務所 2階
(伊予市中山町出淵2-120)
※玄関を入り、左手にある階段で2階に上がった正面です。

■電話番号 089(967)0100

■FAX番号 089(967)1139
※電話・FAX番号は変更ありません。



✿ 平成23年度 ✿

伊予市社協 会員加入のお願い

伊予市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者をはじめ、全ての地域住民の方にとって住みよい福祉のまちづくりを目指し、今後、在宅福祉や地域福祉の諸活動を更に充実していきたいと考えております。

つきましては、本年も社協会員にご加入いただきますよう、何とぞ、よろしくお願いいたします。

なお、一般会員は、全戸会員制の趣旨を踏まえて市内全世帯を対象とし、特別会員は、個人・団体・企業を対象とさせていただきます。

なお、募集につきましては、各地区の広報区長さん・地区の役員さんと協議の上改めてご案内させていただきます。

■一般会員会費
1口 500円

■特別会員会費
1口 2,000円

